

2020 年度 V 2 G ビジネス実証事業の実施方針

<実証内容>

- ・同一エリア（オンラインシステム上）における複数サイトの EV/PHEV を一括制御できる仕組みの開発・検証予定外のモビリティニーズ（例：台数の変動）に対応すべく、「複数サイト間の電力融通」の実現を目指し、実証用のシステムの検証および課題抽出を実施する予定です。
- ・実態に即した電力系統安定化向けメニュー、シナリオの整理
太陽光発電などの再エネ出力抑制回避の施策との将来的な連携を見据えた制御要件に見直し実証する予定です。
- ・リソースの拡充
2019 年度の実証事業から実証サイト（4 台の EVPS^{※1}）1 箇所を追加（表 1）し、国内最大規模の V2G 実証環境を構築する予定（図 1）です。
※1 EV パワーステーションの略。充放電スタンドのこと。

表 1 2020 年度の V 2 G 実証事業におけるリソース内訳

実証サイト	EV/PHEV 台数	車両用途	EVPS 台数
静岡ガス（株） 東部支社	2 台（EV：1 台、PHEV：1 台）	通勤用:2 台	2 台
静岡ガス（株） 吉原基地	5 台（EV：4 台、PHEV：1 台）	通勤用:5 台	5 台
三菱自動車工業 （株）岡崎製作所	50 台（PHEV：50 台）	通勤用:50 台	50 台
横浜市 旭土木事務所	1 台（EV：1 台）	業務用:1 台	1 台
協働事業者 敷地内	1 台（PHEV：1 台）	業務用:1 台	1 台
【2020 年度新規構築】 東京電力 PG（株） 神奈川総支社	4 台（EV：4 台）	業務用:4 台	4 台
合計	63 台（EV：10 台、PHEV：53 台）	通勤用:57 台 業務用:6 台	63 台

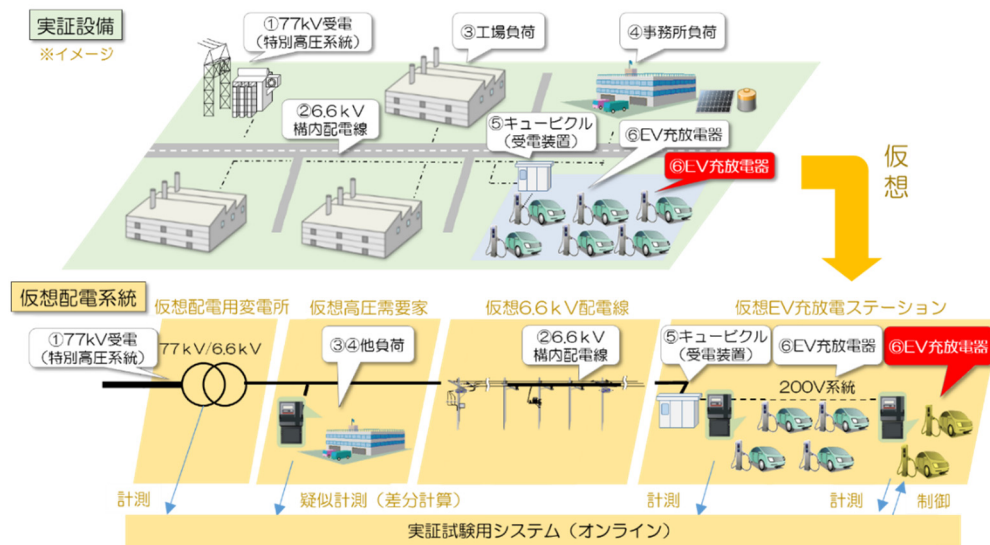


図1 実証サイトの一例

- ・ビジネスモデルの検討

需給調整市場（一次・二次①：2024年度開設予定）におけるアグリゲーションコーディネーター（※）、リソースアグリゲーター別のマネタイズを試算し、事業性評価・分析を実施する予定です。

- ※アグリゲーションコーディネーター：

需要家と VPP サービス契約を締結してリソース制御を行う事業者（リソースアグリゲーター）が制御した電力量を複数束ね、一般送配電事業者や小売電気事業者と直接電力取引を行う事業者

- ・V2G に活用した場合の SOH 評価（State Of Health:劣化状態）検証

PHEV 約 70 台（V2G 制御 50 台：V2G 制御しない 20 台）を使用し、V2G に活用した場合の駆動用バッテリーの SOH 評価を実証する予定です。

以上